

チベット巡礼探検家 求道の師 能海寛

明治の三蔵法師と称される能海寛は、禁断の国チベットの「西藏語大蔵経」を入手して、世界共通語の英語による英訳仏典を世に出し、5億人と目される仏教徒を纏めて世界宗教会議所を設置、仏教大学を設置したいと壮大な計画を胸に描いて、中国大陸へ渡り、上海から長江を遡上して、三峡、重慶、裏塘、巴塘、成都、西安、蘭州、青海、貴州、雲南、麗江、中甸と1万2千Kmを越える距離を踏破してチベットへ向かった。明治34年4月18日付南條文雄博士宛書簡を最後に雲南の奥地で消息不明となり不帰の人となった。

聖地ラサまでは辿り着けなかったが、邦人として、最も早く西藏領へ2回(四川省巴塘・青海省タンガル)も初入国した。幸いにも、巡礼旅行中の紀行記録・探検記録・仏典翻訳・日記・出納記録など(『能海寛著作集』全15巻に収載)が沢山残っているので、今後、西域研究をする上で重要な文献となり得る。

チベット巡礼探検家・仏教哲学者。明治元年5月18日、浜田市金城町長田浄蓮寺に生れる。京都普通教校、大学林文学寮、慶応義塾を経て、哲学館(現在の東洋大学)を明治26年7月に卒業。京都普通教校在学中の明治21年10月よりE・C・S(English Composing Society「英文会」)を立ち上げ仏教を英文により週刊機関誌『NEW BUDDHIST(「新仏教徒」)』を発行し、新仏教徒運動を起す。慶応義塾では、月刊機関誌『Wisdom & Mercy(「智恵と慈悲」)』を発行する。更に『経緯会』へと発展し、明治31年に境野哲海へ引き継がれ『新仏教徒』運動が大きく伸展していった。

著書『世界に於ける佛教徒』。翻訳「般若心経(梵・蔵・漢・英対訳)」、「西藏ボン教」ほか多数ある。

なお、能海寛資料(3,000点)の内、「能海寛関係歴史資料(357点)」が浜田市文化財指定となっている。



能海寛の故郷・天頂山浄蓮寺



ポーター游頭甫氏と(M32)



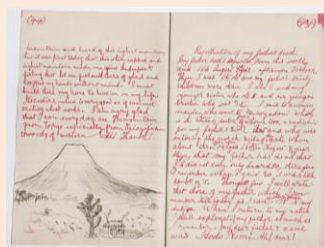
能海寛の将来品の一部



傳牌(旅行許可証)



哲学館卒業記念(M26.7.7)



『Wisdom and Mercy』



英文機関誌『智恵と慈悲』、
と英文日記『春秋日記』



テンゲー・リン寺のスケッチ



「滅十罪経」(西藏語大蔵経)

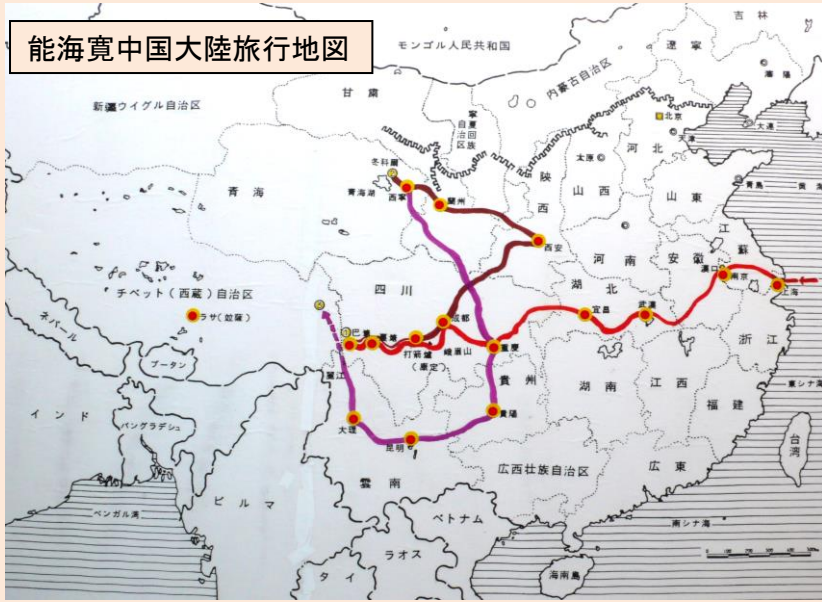


カンリン(骨笛)



ジャンバラ神(西藏仏像)

能海寛中国大陆旅行地図



能海寛が仏教開国のためチベット・ポタラ宮をめざした



能海寛師顕彰碑と歌碑

《第1次探検コース》 M31. 11. 21-M32. 10. 1

上海→武昌→漢口→沙市→宜昌→巫山→夔州→重慶→昌隆→簡陽→成都→嘉定→我眉山→稚州→打箭鏢→裏塘→巴塘

《第2次探検コース》 M32. 10. 1-M33. 8. 22

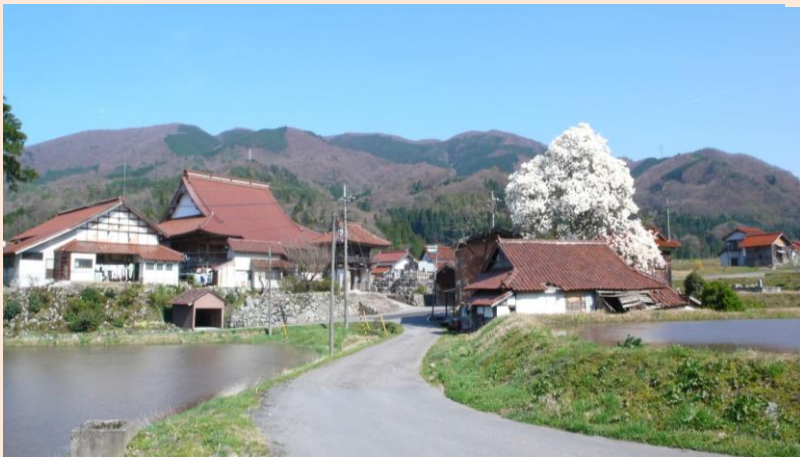
巴塘→裏塘→打箭鏢→稚州→成人→德陽→劍→千仏崖→漢中→留記→陽岐→武功→西安府→長武→平京→蘭州→平番→西寧→丹噶爾→冬科爾

《第3次探検コース》 M33. 8. 23-M34. 4. 21?

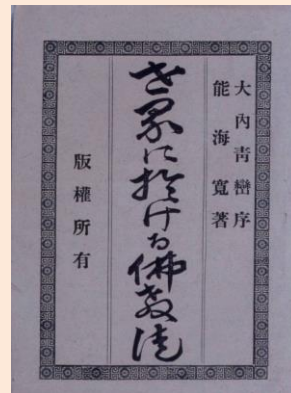
冬科爾→丹噶爾→循化→狹道→階州→臨江→順慶→重慶→貴陽→安順→赤資→曲靖→雲南→安寧→廣通→道州→大理府→麗江→中甸→?

【凡例】

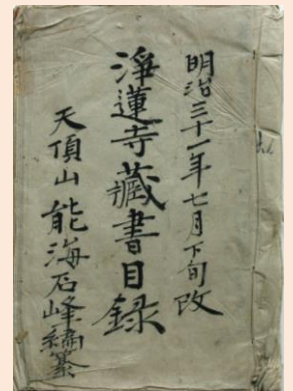
— 国境（未定国境を含む）。—— 省境。——→ 能海寛進蔵行程。
 □ 首都。◎ 主要都市。□□□ 万里長城。①②③ 探検コース。



天頂山淨蓮寺と能海寛記念樹の「ハクモクレン」（市指定天然記念物）



『世界に於ける仏教徒』



能海寛編纂の『藏書目録』



生前の業績で贈られた称号



翻訳『金剛經』



能海寛が主宰した「E.C.S」のシンボル印



能海寛の自画像(スケッチ) 比叡山、身延山、富士山、稲田の郷、伊豆七島などの紀行文・日記が多数ある。



『能海寛著作集』全15巻・別巻(全18冊)

能海寛研究会
 〒697-0211 島根県浜田市金城町波佐イ 394
 TEL/FAX(0855)44-0010 E-mail:sekihou@hazaway.com